



【Sharing Caring CULTURE が実施する多文化親子交流会の様子】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 30 年 10 月 11 日
多文化共生市民活動支援補助事業紹介特集
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-4710
ki-somu@city.yokohama.jp

多文化共生市民活動支援補助事業

横浜市では、ラグビーワールドカップ 2019™や東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、多文化共生による創造的社會を実現していくため、「来訪外国人へのおもてなし促進」、「異文化理解の促進」、「在住外国人の活躍促進」に関する、市民団体やNPO法人等の活動への支援※を実施しています。この特集では、今回支援を決定した、5 団体についての紹介を行います。

※詳細はこちら：

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/multiculture/tabunkaho.jokin.html>

国際交流横浜まどかグループ

補助事業で「英語で横浜ガイド・ワークショップと実践」を行う、「国際交流横浜まどかグループ」について紹介します。



国際交流横浜まどかグループ（中区）は、昭和 58 年に設立され、外国人を対象としたボランティア活動、交流活動、学習活動、チャリティ活動を 4 本柱として活動しています。

具体的な取組としては、横浜市内のガイドや英語でのガイドに興味のある市民向けに、「英語で横浜ガイド」「英語で日本文化紹介」のセミナーやワークショップの開催、30 年以上も三溪園で実施している国際花見があります。他にも、日本料理教室や民族衣装交流、着付け、茶道といった日本文化紹介も行っています。



Sharing Caring CULTURE

都筑区にある Sharing Caring CULTURE は、2014 年に在住フィリピン人、韓国人と日本人が共に立ち上げた任意団体です。本団体は、外国人が自信をもって取り組めることで、日本での生活を楽しめる場をつくることはできないかと考え、“外国人が発信する場をつくろう！”と活動を始めました。言葉ではなく、料理やアート、ダンスなどの文化的な活動を通して、日本人＝支援する人、外国人＝支援される人の関係ではなく、ともに協働する社会をつくっていく

ため、地域の外国人と日本人が
つながる場づくりをしています。

主な活動：

①外国籍主婦による多文化カルチャー講座

②多文化親子交流会

“みらい kids playgroup”

③週末家族イベント

活動場所：青葉区アートフォーラムあざみ野、青葉国際交流ラウンジ

補助事業で「外国籍主婦による多文化カルチャー講座」を実施します。



公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団

公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団（都筑区）は平成4年に、横浜に関連した歴史の理解に役立つ国内外の資料や文化財の収集や調査等を行うとともに、その成果を展示・出版等で

A group of people are gathered in a museum, looking at a large, ornate golden statue. In the foreground, a man with a beard and a turban is looking at the statue. Behind him, a woman wearing a headscarf is also looking at the statue. To the left, a man in a light-colored jacket is standing next to a ladder, which is positioned next to the statue. The statue is highly detailed and appears to be made of gold. The background shows other visitors and museum displays.